

# 世界史

# 世界史

**第1問** 20世紀のヨーロッパを中心とする国際協調・国際協力について述べた次の文A～Cを読み、下の問い(問1～10)に答えよ。

A ポリス間の争いが絶えなかった古代ギリシア世界では、ポリスが衰退したヘレニズム時代に世界市民主義(コスモポリタニズム)の思想が生まれた。この思想は<sup>Ⓐ</sup>ストア派哲学と結びつき、その後の哲学・思想に受け継がれた。ドイツ観念論哲学の祖とされる18～19世紀の哲学者<sup>ア</sup>は、『世界市民的見地における一般史の構想』や『永遠平和のために』を著して「平和連合をつくれ」と説き、ゆるやかな世界市民主義的な考えを述べた。

19世紀後半には国際赤十字など国際組織が立ち上げられたが、これは<sup>Ⓑ</sup>当時の国際情勢が日増しに緊迫化していたこともその背景にあると考えられる。20世紀前半、人類は初の世界大戦を経験するが、その惨禍の中から、アメリカ合衆国大統領ウィルソンは国際協力による平和維持機構の構想を発表し、1920年、<sup>イ</sup>に本部を置く国際連盟が設立された。オランダのハーグには常設国際司法裁判所が設置され、国家間の紛争について裁定する権限が与えられた。

**問1** 空欄<sup>ア</sup>・<sup>イ</sup>に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。<sup>1</sup>

- ① アーカント          イーニューヨーク
- ② アーカント          イージュネーヴ
- ③ アーデカルト        イーニューヨーク
- ④ アーデカルト        イージュネーヴ

**問2** 下線部<sup>Ⓐ</sup>に関連して、ストア派哲学者の著作中の言葉、あるいはその思想をまとめた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。<sup>2</sup>

- ① 快樂こそ真の善である。
- ② 最大の賢者とは、自分の知恵が実際には無価値であることを自覚する者である。
- ③ 自由は、欲望を満たすことではなく、欲望を除去することで得られる。
- ④ アイデアこそが真の实在であり、この世界は不完全な仮の世界にすぎない。

問3 下線部⑥に関連して、19世紀後半から第一次世界大戦直前までの時期の世界で起こった出来事について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① イギリスは、南アフリカ戦争でブール人(アフリカーナー)の国を併合した。
- ② ファショダ事件が起こり、ドイツとフランスが衝突した。
- ③ イタリアはオスマン帝国と戦い、アルバニアを獲得した。
- ④ バルカン戦争によって、オーストリアはハンガリーをうしなった。

B 第一次世界大戦の終了直後は、⑥各地で小戦争や紛争が相次ぐなど不安定な状態が続き、また、ソ連の成立に脅威を感じる国々もあった。このような中で、ヨーロッパでは国際協調外交が推進され、1925年には7カ国が  条約を結んで、ドイツ西部国境の現状維持などを約束した。さらに1928年には、国際紛争を戦争で解決しないことを誓った不戦条約も、15カ国(のち63カ国)の参加で締結された。東ヨーロッパでは、⑦チェコスロヴァキア・ルーマニア・ユーゴスラヴィアの間に小協商が成立したが、これもドナウ川流域における集団安全保障体制的性格を持つものであった。こうして、1920年代後半のヨーロッパにはつかの間の平和が生まれたが、その後の⑧世界恐慌とファシズム諸国の勢力増大によって平和と安定はしだいに動揺した。1936年、ヒトラーのナチス＝ドイツが  進駐を行ったことは、1925年の条約で決められた内容に背く行為で、ここにヨーロッパの国際秩序は崩壊した。

問4 空欄  ・  に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ウーローザンヌ      エーラインラント
- ② ウーローザンヌ      エーザール
- ③ ウーロカルノ        エーラインラント
- ④ ウーロカルノ        エーザール

問5 下線部⑨に関連して、第一次世界大戦後(1925年頃まで)の戦争や紛争について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① イタリアが、フィウメを併合した。
- ② イギリスが、エジプトの反乱を鎮圧して保護国とした。
- ③ ギリシアが、オスマン帝国のイズミルを占領した。
- ④ 革命後のソヴィエト政権に対して、干渉戦争が続けられた。

問6 下線部④について述べた次の文 a と b の正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

- a この3国は、すべてサン＝ジェルマン条約で独立が承認された。  
b この3国では、すべて第二次世界大戦後に社会主義政権が成立した。

- ① a－正 b－正            ② a－正 b－誤  
③ a－誤 b－正            ④ a－誤 b－誤

問7 下線部⑤に関連して、1920～30年代のヨーロッパに関する次の年表中の空欄( X )に入る事項として正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

1922年	ムッソリーニ、「ローマ進軍」でイタリアの政権を握る
1929年	世界恐慌
	( X )
1933年	ドイツでヒトラー内閣成立

- ① 日独伊三国同盟の締結  
② イタリアのエチオピア侵攻  
③ ミュンヘン会談の開催  
④ イギリスがオタワ連邦会議開催

C 第一次世界大戦後、日本生まれでオーストリア貴族の血を引くクーデンホーフ＝カレルギーは、「ロシアとアメリカの政治・経済的脅威に対抗するには、ヨーロッパは一つにならねばならぬ」として「汎ヨーロッパ連合」構想を唱えた。当時は夢想的と思われた「ヨーロッパ統合」の構想が動き出すのは、<sup>(f)</sup>第二次世界大戦でヨーロッパがさらに打撃を受けた後の1950年のことであった。独仏両国の石炭と鉄鋼を共同で管理するというフランス外相の提案に基づき、1952年には6カ国が加盟してヨーロッパ石炭鉄鋼共同体(ECSC)が発足したのである。ECSCはさらになど他の共同体と合併し、1967年には<sup>(g)</sup>ヨーロッパ共同体(EC)となって、ここに西欧統合の基礎が確立した。その後、当初6カ国であった加盟国もしだいに増加し、12カ国になった1992年に結ばれた条約によってヨーロッパ連合(EU)がスタート、単一通貨ユーロの導入を決定するなど、統合はさらに深化した。しかし、参加国がさらに増加した現在では、さまざまな問題が噴出している。

問8 空欄  ・  に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① オーヨーロッパ自由貿易連合(EFTA)      カーブリュッセル
- ② オーヨーロッパ自由貿易連合(EFTA)      カーマーストリヒト
- ③ オーヨーロッパ経済共同体(EEC)          カーブリュッセル
- ④ オーヨーロッパ経済共同体(EEC)          カーマーストリヒト

問9 下線部④に関連して、第二次世界大戦中に起こった出来事として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① アメリカ合衆国は、ドイツの無制限潜水艦作戦に反発して参戦した。
- ② ソ連はフィンランドに侵攻し、さらにバルト3国を併合した。
- ③ 連合国はノルマンディー上陸に成功し、第二戦線が形成された。
- ④ 独ソ戦で、ソ連は大損害を受けつつもドイツの攻撃をくいとめた。

問10 下線部⑤に関連して、ヨーロッパ共同体(EC)を構成した原加盟国6カ国に含まれる国として正しいものを、次の地図中の①～④のうちから一つ選べ。(注：地図中の国境は現在のものである。)



**第2問** 中国の土地制度について述べた次の文A～Cを読み、下の問い(問1～10)に答えよ。

A 中国では、<sup>Ⓐ</sup>秦・漢時代に中央集権体制と官僚制の基礎が築かれたが、前漢の時代から豪族が台頭してきた。彼らは土地を買い集めて奴婢や小作人などを使用し、時には私兵をも所有して地方で勢力を伸ばした。中には、前漢の武帝が始めた  を利用して中央政界に進出し、有力者となる者も現れた。

豪族の土地所有を制限しようという試みは漢代から行われたが、<sup>Ⓑ</sup>魏晋南北朝時代の諸王朝によって実施されたいくつかの制度も、豪族抑制の側面を持っていたといえる。5世紀後半、北魏の  帝によって実施された均田制は、国が耕作者に土地を均等に貸し与える、つまり「国家による土地所有」を原則とする制度であり、強力な豪族抑制策と見えたが、制度の不全や、新たに登場した貴族勢力の強大化もあって、効果は限定的であった。

問1 空欄  ・  に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① アー郷拳里選 イー孝文
- ② アー郷拳里選 イー太武
- ③ アー九品中正 イー孝文
- ④ アー九品中正 イー太武

問2 下線部<sup>Ⓐ</sup>について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 秦の始皇帝は、郡県制を全国的に施行した。
- ② 皇帝を補佐する官職は丞相とよばれ、秦では李斯が知られる。
- ③ 前漢では、成立当初は郡国制が行われた。
- ④ 後漢では、三省と六部による中央官制が完成した。

問3 下線部<sup>Ⓑ</sup>に関連して、王朝名とその時代に創始された法や制度名の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 魏ー青苗法 西晋ー里甲制
- ② 魏ー里甲制 西晋ー青苗法
- ③ 魏ー屯田制 西晋ー占田・課田法
- ④ 魏ー占田・課田法 西晋ー屯田制

**B** 貴族などが所有する荘園はますます全国で拡大し、8世紀には均田制が崩壊した。780年から実施された **ウ** は、土地・資産の大小に応じて課税する税制であるが、これは土地の私有が認められたことを意味し、荘園はあっという間に発達した。地主は購入や寄進などさまざまな方法で土地を拡大したが、**㉓** 貴族が没落した宋代には、官僚を出した家である **エ** の労役は免除されたため、新興地主層が官僚となることも多かった。

荘園を耕作するのは主として佃戸とよばれる小作農であった。佃戸の地位・待遇は、たとえば地代は収穫の半分であるなど、西欧中世の農奴と比較すれば悪いものではないにせよ、一般的に苦しい生活を強いられていた。明末清初には、**㉔** 小作料をめぐる佃戸と地主の争いが多発した。

**問4** 空欄 **ウ**・**エ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **14**

- ① ウー両税法      エー戸部
- ② ウー両税法      エー官戸
- ③ ウー地丁銀制    エー戸部
- ④ ウー地丁銀制    エー官戸

**問5** 下線部**㉓**について述べた次の文 **a** と **b** の正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 **15**

- a** 宋代に科挙が創設されたことで、貴族は特権をうしなない、没落した。
- b** 宋代には、貴族にかわって士大夫が社会的指導者層を形成した。

- ① **a**－正    **b**－正      ② **a**－正    **b**－誤
- ③ **a**－誤    **b**－正      ④ **a**－誤    **b**－誤

**問6** 下線部**㉔**に関連して、このような佃戸と地主の争いを意味する語として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **16**

- ① 抗租運動      ② 仇教運動
- ③ 洋務運動      ④ 公民権運動

C 一方、中国では古くから、「土地均分」が理想であるという考え方も存在した。[オ]の教えを継承した孟子は、その言行録の中で、周代にはすでに一種の土地均分制度が行われていたことを記している。井田制とよばれるその制度は、実在が疑問視されているものの、⑤しばしば理想的な制度だとして後世の儒家や政治家の参考にされた。均田制もある意味でこうした思想の影響に支えられたものであるといえよう。

土地所有の不平等が進むと、⑥黄巢や洪秀全などのように、土地などの平等をスローガンとして民衆反乱を率いる人物がしばしば現れた。黄巢はみずからを「平均大將軍」と称している。20世紀初めに[カ]を設立した孫文も、「平均地権」をその四大綱領の一つに掲げた。そして、土地などの公有による平等社会の実現を掲げた中国共産党が、1949年に⑦中華人民共和国を建設するのである。

問7 空欄 [オ]・[カ]に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 [17]

- ① オー莊子      カー維新会
- ② オー莊子      カー中国同盟会
- ③ オー孔子      カー維新会
- ④ オー孔子      カー中国同盟会

問8 下線部⑤に関連して、周代の政治・社会を理想とし、井田制をモデルにした政策を行うなどの復古主義政策を強行した人物として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- [18]
- ① 王莽              ② 煬帝              ③ 曹操              ④ 冒頓单于

問9 下線部⑥について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 [19]

- ① 節度使の黄巢は、史思明とともに反乱を起こした。
- ② 黄巢は唐を滅ぼし、後梁を建てた。
- ③ 洪秀全の建てた太平天国は、天朝田畝制度を発表した。
- ④ 洪秀全の建てた太平天国は、西太后の援助を受けた。

問10 下線部㉔に関連して、中華人民共和国で起こった次のa～cの出来事が、年代の古いものから順に正しく配列されているものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 20

- a 鄧小平が最高実力者として、改革・開放政策を指導した。
- b アメリカ合衆国のニクソン大統領が訪中した。
- c 朝鮮戦争に際して、義勇軍を派遣した。

- ① a → b → c                      ② a → c → b                      ③ b → a → c  
④ b → c → a                      ⑤ c → a → b                      ⑥ c → b → a

**第3問** ヨーロッパの建築・美術・音楽について述べた次の文A～Cを読み、下の問い(問1～10)に答えよ。

A 教皇の力が強大化し、カトリック教会の影響力が強まると、西ヨーロッパでは人々の信仰心が強まり、キリスト教の聖地をめざす「巡礼」熱が高まった。11世紀頃から主要都市や、聖地に至る「巡礼の道」沿いに、厚い壁と小さな窓、半円アーチを用いた荘重な **ア** 様式の教会が相次いで建設された。巡礼者たちは道すがら、沿道のこれらの教会で祈りを捧げつつ聖地へと向かった。聖地エルサレムへの巡礼が増加するにつれ、エルサレムをイスラーム教徒から奪回すべきとする情熱も高まり、11世紀末に始まる **a** 十字軍の一因ともなった。

12世紀頃、北フランスに高い塔と尖頭アーチ、ステンドグラスなどを特徴とする **イ** 様式の教会が登場し、やがて西ヨーロッパ全体に広まった。この巨大な教会建築の背後には、**b** 力を蓄えた都市の財力があつたことはいうまでもない。建築には膨大な費用と時間が必要で、たとえばドイツのケルン大聖堂は、13世紀に着工して19世紀によく完成した。

一方東ヨーロッパでは、**c** コンスタンティノーブルのハギア(セント)＝ソフィア聖堂に見られるような独自の教会建築が生まれ、ラヴェンナのサン＝ヴィターレ聖堂など、西ヨーロッパの教会建築にも一定の影響を及ぼした。

**問1** 空欄 **ア**・**イ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **21**

- ① アービザンツ      イーゴシック
- ② アービザンツ      イールネサンス
- ③ アーロマネスク      イーゴシック
- ④ アーロマネスク      イールネサンス

**問2** 下線部**a**に関連して、十字軍時代(11世紀末～13世紀末)のヨーロッパで起こった出来事として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **22**

- ① 教皇庁がローマからアヴィニョンに移された。
- ② ドイツで、「大空位時代」とよばれる皇帝不在の時代が続いた。
- ③ ノルマン人が、南イタリアに両シチリア王国を建てた。
- ④ ドイツ・ポーランド連合軍が、ワールシュタットの戦いでモンゴル軍に敗れた。

問3 下線部⑥に関連して、ヨーロッパの都市とその特色や起こった出来事の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 23

- ① リューベック－ハンザ同盟の盟主
- ② リューベック－フランドル地方の中心地
- ③ ヴェネツィア－ハンザ同盟の盟主
- ④ ヴェネツィア－フランドル地方の中心地

問4 下線部⑦について述べた次の文 a と b の正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 24

- a アウグストゥスの時代にローマ帝国の首都とされた。
- b ムスタファ＝ケマルによって、トルコ共和国の首都とされた。

- ① a－正      b－正                      ② a－正      b－誤
- ③ a－誤      b－正                      ④ a－誤      b－誤

B バロック美術は、17世紀～18世紀初頭の美術様式で、イタリアから全ヨーロッパに広がった。躍動的・ドラマティックな表現、コントラストの強調などを特徴とするこの様式の隆盛は、装飾的なものの排除をめざした⑧宗教改革に対するカトリック側の宗教的・政治的な対抗の動きや、絶対王政の伸長がその背景にあったとされる。さらに18世紀には繊細・華美なロココ美術がフランスを中心に展開されたが、バロックやロココは、美術のみならず建築などにも使用される語で、たとえばウはバロック様式の代表とされる。

一方、「バロック音楽」は、16世紀後半から18世紀の音楽をさす語で、美術・建築におけるバロック時代より幅広い時代の音楽に対して用いられる。たとえば、バロック音楽の代表とされるドイツのエは、美術や建築でいえばむしろロココ時代の人である。この作曲家が、彼を尊敬する⑨プロイセンのフリードリヒ2世(大王)に「音楽の捧げ物」と名づけられた曲を献上したことは有名である。

問5 空欄ウ・エに入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 25

- ① ウーヴェルサイユ宮殿      エーシューベルト
- ② ウーヴェルサイユ宮殿      エーバッハ
- ③ ウーピサ大聖堂              エーシューベルト
- ④ ウーピサ大聖堂              エーバッハ

問6 下線部④について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 26

- ① マルティン＝ルターは、ジュネーヴで予定説に基づく改革を行った。
- ② イグナティウス＝ロヨラやツヴィングリは、イエズス会(ジェズイット教団)を創設した。
- ③ スペイン王フェリペ2世は、神聖ローマ皇帝をも兼任した。
- ④ フランスでは、ブルボン朝時代に重商主義政策が展開された。

問7 下線部⑥に関連して、フリードリヒ2世(大王)が関与した戦争の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 27

- ① オーストリア継承戦争－スペイン継承戦争
- ② オーストリア継承戦争－七年戦争
- ③ 三十年戦争－スペイン継承戦争
- ④ 三十年戦争－七年戦争

C [オ]主義は、古代ギリシア・ローマ文化を理想とし、調和・秩序・形式美を重視する文芸思潮で、17世紀から19世紀初めにかけての幅広い時代のヨーロッパで盛んとなった。絵画では、「ナポレオンの戴冠式」を描いたダヴィドなどが有名である。

ウィーン体制期には、人間の感情を重んじるロマン主義が主流となった。フランスの画家ドラクロワは、<sup>f</sup>「民衆を導く自由の女神」などのドラマティックな絵画で知られる。また、「ピアノの詩人」といわれたポーランドの作曲家ショパンは、1830年に起こった祖国の蜂起が[カ]によって弾圧された怒りと悲しみから、練習曲「革命」を作曲した。

この頃、<sup>g</sup>ヨーロッパ主要国は世界各地に植民地を獲得していたが、これらの植民地では、宗主国の建築様式と結合したコロニアル様式(植民地様式)とよばれる建築が生み出された。

問8 空欄 [オ]・[カ]に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 28

- ① オー写実      カーイギリス
- ② オー写実      カーロシア
- ③ オー古典      カーイギリス
- ④ オー古典      カーロシア

問9 下線部㉔に関連して、この絵画の題材とされた1830年の七月革命とその結果・影響について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 29

- ① フランスでは、国王シャルル10世が亡命した。
- ② ドイツでは、ブルシェンシャフトが結成された。
- ③ ベルギーが、フランスから独立した。
- ④ イギリスでは、チャーティスト運動が最高潮に達した。

問10 下線部㉕に関連して、植民地の中には、宗主国(支配国)が途中でかわる場合もあった。植民地名と宗主国の変化の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

30

- ① ベトナムーフランス領からイギリス領へ
- ② 南洋諸島(ミクロネシア)ードイツ領からイタリア領へ
- ③ フィリピンースペイン領からアメリカ合衆国領へ
- ④ 台湾ーオランダ領からポルトガル領へ

**第4問** 紙の誕生と伝播について述べた次の文A～Cを読み、下の問い(問1～10)に答えよ。

A ①古代エジプトでは、カヤツリ草を材料としてつくるパピルスとよばれる書写材料があった。パピルスは、ヘレニズム時代に成立した  朝時代にはエジプトを代表する輸出品となり、地中海の各地に広まった。パピルスは paper の語源とされるが、植物の薄片をプレスしてつくったもので、現在私たちが使用する紙とは異なるものである。

中国ではすでに前漢の時代につくられた紙の断片が発見されているが、一般的には後漢の  が製紙法を改良した人物として知られる。この紙はすぐれていたため国内に普及し、  
②詩人や文章家の活躍に大いに貢献した。

③日本に製紙法が伝わったのは、7世紀頃とされ、以後「和紙」として独自の発展をとげた。

問1 空欄  ・  に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① アーアンティゴノス      イー蔡倫
- ② アーアンティゴノス      イー郭守敬
- ③ アープトレマイオス      イー蔡倫
- ④ アープトレマイオス      イー郭守敬

問2 下線部①に関連して、ヒクソスがエジプトに侵入した時期として正しいものを、次の年表中の①～④のうちから一つ選べ。

<input type="text" value="①"/>
前 26 世紀    クフ王などの大ピラミッド建設
<input type="text" value="②"/>
前 21 世紀    テーベを中心に中王国時代が始まる
<input type="text" value="③"/>
前 14 世紀    アメンホテプ4世(イクナートン)による宗教改革
<input type="text" value="④"/>

問3 下線部⑥に関連して、中国の文人について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 33

- ① 陶潜(陶淵明)は、東晋の田園詩人である。
- ② 李白や杜甫は、宋代に活躍した詩人である。
- ③ 顔真卿は、金と戦った南宋の文人である。
- ④ 欧陽脩は、清代に『紅樓夢』を著した。

問4 下線部⑦に関連して、7世紀の日本について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 34

- ① 邪馬台国の女王卑弥呼が、中国に使者を送った。
- ② 最初の武家政権が、平清盛によって樹立された。
- ③ 倭の五王が、中国に朝貢した。
- ④ 遣隋使や遣唐使が、盛んに派遣された。

B 製紙法はやがて国外に伝播・流出するようになった。イスラーム世界への伝播は、751年に中央アジアで行われた ウ の戦いがきっかけとされる。この時アッバース朝に敗れた中国軍の捕虜の中に製紙工がおり、彼らによって製紙法が西方世界に伝播することとなったという。この戦いのわずか6年後には、早くも <sup>d</sup> サマルカンド に製紙工場がつくられているが、中国のように植物が豊かではないイスラーム世界は、紙の原料に使い古した亜麻布を使うなど、ずいぶん苦勞したようである。その後、製紙工場はアッバース朝の首都である エ や <sup>e</sup> ファティマ朝 の首都など、イスラーム世界の主要都市に設けられ、主要な書写材料となっていった。

問5 空欄 ウ ・ エ に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 35

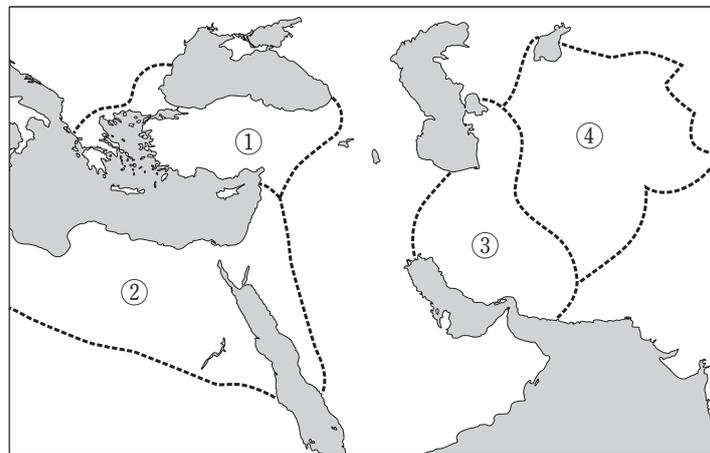
- ① ウータラス河畔                      エーダマスクス
- ② ウータラス河畔                      エーバグダード
- ③ ウーニハーヴァンド                  エーダマスクス
- ④ ウーニハーヴァンド                  エーバグダード

問6 下線部④について述べた次の文 a と b の正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 36

- a ソグディアナの中心都市である。
- b ティムール朝の首都として栄えた。

- ① a－正    b－正            ② a－正    b－誤
- ③ a－誤    b－正            ④ a－誤    b－誤

問7 下線部⑥に関連して、10世紀頃のファーティマ朝の領域として正しいものを、次の地図中の①～④のうちから一つ選べ。 37



C ヨーロッパにおいては、紙は当初イスラーム世界からの輸入に頼っていたが、<sup>(f)</sup>12世紀にはイスラーム勢力の支配下にあったイベリア半島の小都市ハチバに初の製紙工場がつくられた。その後、イタリア半島やフランスなどヨーロッパ各地に次々と工場が建てられて紙を供給するようになった。15世紀半ばに オ が活版印刷術を改良すると、多くの印刷物が作成され、紙の需要はいっそう高まった。活版印刷の実用化はルネサンス時代の新しい思想を普及させることに貢献し、とりわけ宗教改革の全ヨーロッパ的拡大に大きな役割を果たした。この頃はまだ、ヨーロッパでも製紙の原料には使い古した布などを使用しており、木材のパルプを原料とするようになるのは19世紀のことである。

北アメリカでは17世紀末、ペンシルヴェニア植民地の中心都市 カ に最初の製紙工場がつくられた。この都市はアメリカ合衆国初期の事実上の首都で、<sup>(g)</sup>アメリカ独立革命期には、大陸会議や憲法制定会議などが開催された。

問8 空欄 **オ**・**カ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **38**

- ① オーフアン＝アイク兄弟      カーボストン
- ② オーフアン＝アイク兄弟      カーフィラデルフィア
- ③ オーグーテンベルク          カーボストン
- ④ オーグーテンベルク          カーフィラデルフィア

問9 下線部⑤に関連して、12世紀のイベリア半島について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **39**

- ① アブド＝アッラフマーン3世が後ウマイヤ朝の最盛期を現出した。
- ② ムラービト朝やムワッヒド朝が、北アフリカから進出した。
- ③ オスマン帝国に征服され、その支配下にあった。
- ④ マムルーク朝が、キリスト教勢力に対抗していた。

問10 下線部⑥に関連して、独立革命期のアメリカで起こった次のa～cの出来事が、年代の古いものから順に正しく配列されているものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 **40**

- a 独立宣言採択
- b ヨークタウンの戦い
- c 第1回大陸会議

- ① a → b → c                      ② a → c → b                      ③ b → a → c
- ④ b → c → a                      ⑤ c → a → b                      ⑥ c → b → a

(世界史の問題は終わり)